

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 25 日現在

機関番号：14501
 研究種目：若手研究（B）
 研究期間：2010～2012
 課題番号：22720044
 研究課題名（和文） 国際美術シーンにおける戦後日本美術の展開と J・D・ロックフェラー 3 世の文化政策
 研究課題名（英文） A Study on the Development of Japanese Art in the Post-WWII International Art Scene and the Cultural Policy of J. D. Rockefeller 3rd
 研究代表者
 池上 裕子（IKEGAMI HIROKO）
 神戸大学・大学院国際文化科学研究科・准教授
 研究者番号：20507058

研究成果の概要（和文）：

研究期間中、精力的に研究テーマについて調査を行い、学会や国際シンポジウムでの発表を行った。ニューヨーク近代美術館やジャパン・ソサエティ等での調査を行い、対米生活の長い作家達にインタビューを行った。

大きな成果として、2012年にニューヨーク州立大学ニューパルツ校の附属美術館で篠原有司男の回顧展を企画・開催し、研究論文を複数収録した図録を制作・出版した。

また、1960年代における国際的なポップアートの広がりを検証するという、次の研究課題にもつながる成果を挙げることができた。

研究成果の概要（英文）：

I conducted an extensive research on the research topic during the tenure of this fellowship, while presenting a paper in a number of conferences. I did research at the Museum of Modern Art Archives and Japan Society while interviewing Japanese artists living in the city. The major accomplishment of this study was the retrospective of Shinohara Ushio at the museum of SUNY New Paltz, for which I acted as a lead curator, and also published a catalogue with three scholarly. This led to my next research theme to examine the international proliferation of Pop Art in the 1960s.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2011年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2012年度	1,100,000	330,000	1,430,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学、美学・美術史

キーワード：日米美術交流、国際美術シーン、現代美術

1. 研究開始当初の背景

(1) 戦後日米の美術交流について検証した

若手研究（スタートアップ）を通して、ロックフェラー3世の文化政策が果たした役割に注目するようになった。

(2) 国際美術シーンにおける日本美術の展開という観点からの包括的かつ実証的な研究は存在しなかったため、本研究の課題として取り上げることにした。

2. 研究の目的

(1) 第二次世界大戦以降の国際美術シーンにおける日本美術の展開や位置づけを、ロックフェラー3世の文化政策との関わりから歴史的・批判的に検証する。

(2) ロックフェラー3世の文化政策とニューヨーク近代美術館、ジャパン・ソサエティ、アジア・ソサエティ等の文化機関との関わりを調査する。

(3) 海外、主にアメリカで活躍した日本人作家の活動を分析し、国際美術シーンにおける彼らの位置づけ・評価について考察する。

3. 研究の方法

(1) ニューヨーク近代美術館やロックフェラー財団、ジャパン・ソサエティ、アジア・ソサエティのアーカイヴにおける未公開資料の調査。

(2) 海外で活躍した日本人作家への聞き取り調査。聞き取りはオーラル・ヒストリーの方法論を用いて行う。

4. 研究成果

(1) ニューヨーク近代美術館やロックフェラー財団のアーカイヴで未公開資料を収集した。
また、ニューヨーク市立図書館では日本美術の展覧会に関する展評などの調査を行った。

(2) アメリカの美術界と関わりのあったアーティストや批評家のインタビューを行った。聞き取りを行ったのは木村重信、中里斉、野田正明、東松照明など。
これらのインタビューは「日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイヴ」のホームページで公開されている。

(3) 調査結果を国内外の学会やシンポジウムで発表した。
主なものに 2011年に韓国で行われた国際シンポジウム、2012年のアメリカ美術史学会、2013年の国際美術史学会でおこなった発表がある。

(4) 篠原有司男の初の回顧展をニューヨーク州立大学ニューパルツ校の付属美術館で企画・開催した。
学術論文や資料写真を複数掲載した図録、『Shinohara Pops! The Avant-Garde Road, Tokyo/New York』を刊行した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

①Hiroko Ikegami

“On the Practice of Oral History Archives of Japanese Art:Toward Oral Histories of Art in Asia,” Field Notes, Issue 2, 2012, pp. 25-48.
(査読無)

②Hiroko Ikegami

“The ‘Triumph’ of Japanese Neo-Pop: A Historical Evaluation,” Journal of Korean Association for History of Modern Art 12 December 2011: 221-251
(査読有)

③Hiroko Ikegami

“World without Boundary’ ? EAT and the Pepsi Pavilion at the Expo ’ 70, Osaka,” Review of Japanese Culture and Society (Josai University, December 2011): 174-190
(査読有)

④池上裕子

「ポスト・コンフリクトの日米美術交流」、『コンフリクトの人文学』、第3号、2011年3月
pp. 41-59
(査読有)

[学会発表] (計 12件)

①Hiroko Ikegami

“Recontextualizing Neo-Dada: Jasper Johns in Tokyo, 1964” School of Art Institute, Chicago, America
April 2013

②Hiroko Ikegami

“Notes on Pop in Japan, Part 2,”
University of California
Berkeley, America
February 2013

③池上裕子

「日本美術オーラル・ヒストリー・アーカイブの活動について」、シンポジウム「戦後美術アーカイブ その課題と展望」
横尾忠則現代美術館
2013年1月

④Hiroko Ikegami

“Who Is Afraid of Pop? Remaking American Pop by Ushio Shinohara and Elaine Sturtevant,” Comité international d’histoire de l’art
Naruto,
January 2013

⑤Hiroko Ikegami

“Shinohara Pops! Or How to Make Pop Ukiyo-e,”
New York Conference for Asian Studies
SUNY New Paltz, America
September 2012

⑥池上裕子

「ポロックを売る、ポロックを買う—アメリカ美術の国際市場形成について」
ポロック展記念シンポジウム
東京国立近代美術館
2012年3月

⑦Hiroko Ikegami

“Looking and Being Looked At: Jasper Johns in Tokyo, 1964,” in a panel “Pop and Politics,”
College Art Association
Los Angeles, America
February 2012

⑧Hiroko Ikegami

“The ‘Triumph’ of Japanese Neo-Pop: A Historical Evaluation,”
12th International Conference of Korean Association for the History of Modern Art
Ewha Woman’s College
Seoul, Korea
October 2011

⑨Hiroko Ikegami

“World without Boundary? EAT Goes to Expo ’70, Osaka,”
Harvard University

November 2010

⑩Hiroko Ikegami

“Toward Oral Histories of Art in Asia,”
6th Asian Museum Curators’ Conference,
Venkatappa Art Gallery
Bangalore, India
October 2010

⑪Hiroko Ikegami

“How New York Defended the Idea of Modern Art: A Case of Postwar Art from Japan, 1966,”
Asian Studies Conference Japan
Waseda University
June 2010

⑫Hiroko Ikegami

“Introducing the Art under the Nuclear Umbrella: The New Japanese Painting and Sculpture at the Museum of Modern Art, New York,”
University of Michigan Museum of Art,
America
April 2010

[図書] (計 3件)

①Hiroko Ikegami

Shinohara Pops!
The Avant-Garde Road
Tokyo/New York (Albany: SUNY Press, 2012)
co-authored with Reiko Tomii
pp. 128

②Hiroko Ikegami

et al. East-West Intersections in American Art: A Long and Tumultuous Relationship
Smithsonian Institution Scholarly Press
2012
pp. 289

③池上裕子他

『コンフリクトのなかの芸術と表現—文化的ダイナミズムの地平』
大阪大学出版会
2012年
371頁

[その他]

ホームページ等

<http://www.oralarthistory.org/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

池上 裕子 (IKEGAMI HIROKO)
神戸大学・大学院国際文化学研究科・准教授
研究者番号：20507058

(2) 研究分担者

なし